

代表質問　真志会　**磯部　亜希**　議員

公共施設再編を、削減率を示す計画から財政効果と期限を管理する実行計画へ

問　今年度中に個別計画ができるか分からないということか

答　今年度中とのお約束をすることは難しいと考えています

問　3月の代表質問後の進捗と毎年度5000万円削減をどう実現するのか。

答　市長

本年3月定例会で、「市民の合意形成に時間がかかるので、少なくとも現時点で令和8年度から令和10年度までの3か年の計画くらいはできていないと再編は進まないと考えるが、市長の考えを問う。」とのご質問に、「できるだけ早急に具体的な議論を庁内で行い、具体的な話合いを市民の方々と始めなければならないので早急に対応させていただきます。」と答弁しました。例年の各施設の状況や再編予定時期等の確認のための所管課ヒアリングに加えて、外部講師によるヒアリングを実施し、施設の現状確認や、再編に向けたスケジュールの整理を進めています。具体的な再編時期が示されていないことから、今後、施設ごとのより具体的な再編計画を定め、公共施設の再編を進めていきたいと考えています。

問　3月の代表質問の時にできていなければいけないものであり、長期財政計画も毎年5000万円ずつ削減していくと発表され、公共施設の再編とあわせて早急にされるとのことだったがどうか。

答　市長

質問をいただいた時点では全くできていなく、ご質問を受け、施設ごとのより具体的な再編計画策定に向けた対応を4月から急いで行っているところです。スケジュールの公表については市民との合意形成が必要なため時期を見定めることは物理的に不可能です。

問　合意形成に時間がかかるのは分かっていた。市長が早急や覚悟の言葉を使う重さが感じられない。ヒアリングに半年かかるのか。

答　市長

当然4月から急いで対応しています。どの施設をいつどのようにするのかを公表するのは不可能ですが、実行性のある計画をしっかりと定めていきたいということに何も変わりはありません。

問 公共施設の再編を行わなければ財政調整基金が令和12年度に枯渇するため何としてでも再編計画を進めていかなければならないとおっしゃっていた。今年度において5000万円の削減をどう進めるのか。

答 市長

これまではスケジュールが10年間できていませんでしたので、しっかりとした計画の策定を現在進めています。一から具体的な計画を定め、年間平均して5000万円の削減に結びつくように全力で努力をしていきます。

問 今策定できていなければ、今年度分はどのようになるのか。

答 市長

財政破綻について危機感を持ち、財政計画をしっかりと作成して取り組んでいきます。

問 市長が指示をされているのか。

答 市長

進捗確認や、様々な指示のやりとりを行うことは日常的に行っています。

問 もっと早くできないのかと思わなかったのか。

答 市長

もっと早くできないかと思うこともあれば、意外と早く進んでいると思うときもあり、その時その時に協議をしている状況です。

問 半年経っており、早急にすると言っていたが。

答 市長

全ての施設について、いつ、どのような方法でどこに譲渡をするかを決定し、公表するのは物理的に不可能です。これまで個別計画ができておらず、指摘されて半年で完成させることは不可能ですが、現在計画を示せていないことを仕事が遅いとは思っていません。今年度、市の職員が第三者の外部講師の新たな制度を入れて整理していることは早いスピードで進めているものと考えています。

問 3年でも良いので、いつ策定するのか決めてもらわなければ議員として確認ができないがどうか。

答 市長

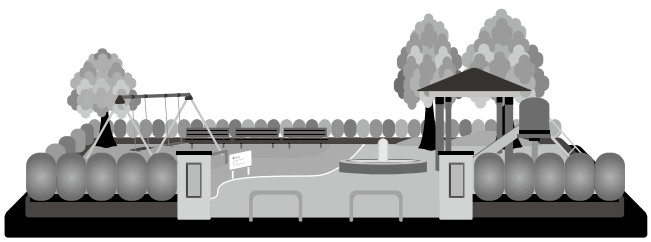
公共施設再編計画の2期目になり、これからはなかなか進みにくいことがはっきりしており、個別施設の具体的な再編計画を市民にしっかりと示しながら進めていくことが非常に重要であると考えています。現在は個別計画がありませんが、できるだけ早く計画を策定したいと考えています。



問 今年度中に個別計画ができなければ長期財政計画を変更していかなければならない。今年度中にできるか分からないということか。

答 市長

今年度中とのお約束をすることは難しいと考えています。



その他の質問

子どもたちの活動機会を確保する部活動改革をどのように実行していくのか